

令和元年度「諮問委員会」を発足 ～ 来年2月の答申発表会に向けて ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋 知史）は8月6日（火）、令和元年度「諮問委員会」を発足いたしました。

同委員会は、金庫の経営課題について、職員が熱心に討議を重ねて具体的な提言を行うことで、職員の意見を金庫経営に反映させることを目的としており、昭和58年に「各種研究会」としてスタートし、これまで延べ1,289名の役員が192のテーマに取り組んできました。

なお、今年度は従来と趣向を変え、1つのテーマに対して2つの班を任命しています。同一のテーマについて多様な視点から議論を進めるなかで、両班が切磋琢磨して議論を重ねることで、より具体的かつ早期に経営に反映することを目的としています。

記

1. 時 期

令和元年8月～令和2年2月

答申提出 令和2年1月10日

発表会 令和2年2月予定

2. テーマ

- (1) 課題解決につながるコンサルティング業務の展開
- (2) 金融環境の変化を捉えた外部機関との連携・提携
- (3) 顧客ニーズをとらえた店舗・チャンネル戦略

3. メンバー

職員24名

4名（1班あたり）×2班（1テーマあたり）×3テーマ

支店長ほか男女職員で構成

以 上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

